

ベトナム 米国産モモ・ネクタリンの輸入を解禁

[在ベトナム米国大使館 2024年8月13日](#)

ハノイ、2024年8月13日 - 在ベトナム米国代表部、米国農務省(USDA)及びカリフォルニア州生鮮果実協会は、米国産のモモとネクタリンのベトナムへの輸入について関係当局から市場アクセスの承認を受けたことを発表する。同協会は今年、米国とベトナムの二国間貿易関係におけるこの重要な節目を祝う行事を、ハノイ市とホーチミン市で開催する。

農務省のジュニー・レスター・モフィット農務次官(マーケティング・規制プログラム担当)は、「この市場アクセスは、両国にとって大きな勝利である。ベトナム国民は高品質でおいしいカリフォルニア州産のモモやネクタリンを入手できるようになり、米国の生産者は農産物を販売する新たな市場を得ることになる。米国とベトナムはこれまでも強力な貿易パートナーであり、これは安全で強靱な貿易を促進するという我々の取り組みの新たな一例である。この市場の開放を促進するために熱心に取り組んできた農務省動植物検疫局とベトナム農業農村開発省の関係者に感謝する」と述べた。

2023年9月の米越関係の強化に関する共同首脳声明で両国は、貿易・経済政策とその目標を達成するための規制措置を支持し、有利な条件を創出して互いの物品とサービスに対する市場開放を促進することを約束した。米国は昨年、ベトナム産ココナッツの市場参入を認めた。米国産のモモとネクタリンは、今後数週間のうちにハノイ市とホーチミン市で入手できるようになる。

在ベトナム米国代表部

エジプト ブドウ品種の権利者が無許可の生産者に勝訴

[EUROFRUIT 2024年8月14日](#)

サンワールド社は、独自の調査及び裁判所の命令による調査を通じ、無許可の生産者が所有する農場でライセンス品種のブドウの木を特定し、権利侵害に対する訴訟を提起した

エジプトの2つの裁判所は、サンワールドインターナショナル社が権利を有するブドウの違法な生産と販売に対し同社が無許可の生産者を相手取って起こした権利侵害訴訟で、同社に有利な判決を下した。

カイロ市とタンタ市にある2つの経済裁判所は、2人の生産者に対して、サンワールドの品種を無許可で増殖することを禁止し、同社の果実を無許可で販売または販売の申し出を行い、輸入または輸出することを禁止するとともに、金銭的損害を賠償し、侵害者の農場に違法に植えられたすべてのブドウの木を侵害者の費用負担で伐根し破壊することを強制するという、実体を伴う差し止め命令を出した。

サンワールドインターナショナル社の知的財産担当副社長兼法務顧問であるマイケル・スティムソン氏は、「弊社は、違法な生産を阻止し、権利を侵害している植物を撤去し、過去の侵害に対する損害賠償を徴収することについて、これらの侵害者に対して全面的に権利を行使する」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

同社は、世界中で200以上の生食用ブドウの特許と植物品種育成者権(PVR)を保有しており、核果類、サクランボ、マンゴーのライセンス品種も提供している。カリフォルニア州を拠点とする同社は、独自の植物品種を開発し、エジプトを含む世界中の生産者にライセンスを供与するビジネスを長年行っている。

「弊社は、世界中の生食用ブドウ産地と消費者市場に出回る生食用ブドウを継続的に見張り、潜在的な侵害事例がないか監視している。その結果、独自の調査及び裁判所の命令による調査を通じて、無許可の生産者が所有する農場でサンワールドのライセンス品種のブドウの木を特定し、徹底的に精査した上で、彼らに対するこの訴訟を提起した。」

スティムソン氏は、違法な侵害者は、ライセンスを有し、合法的にサンワールドの品種を栽培している生産者の果実の価格を引き下げると述べた。

「弊社のビジネスは、ライセンス取得者に可能な限り最高の品種を提供することである。そのため弊社は、発見したすべての侵害者に対して知的財産権を行使するための不断の努力を世界中で行っている。」

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)